

50007	福祉科教育法 Teaching of Social Welfare	3年次～ 通年 4単位			
担当者	望月 珠美	履修可能学科	W		
		関連資格	教職(W)		
サブタイトル	生徒の豊かな福祉観を育むために				
授業内容 ねらい	<p>将来、高等学校において教科「福祉」を教える資格を得るために必須となる科目です。社会福祉に関する専門知識と技術を土台とし、高等学校において「福祉」を学びとして展開させていくために必要な教科教育法に関する知識や技術の獲得をめざします。</p> <p>講義ではまず学習指導要領等を題材として高校福祉科設置の背景とともに教科「福祉」および各科目のねらいを確認します。そして、社会的要請に基づいて設置された教科「福祉」の位置づけと全体像、さらには各科目の特徴と関係性を把握し、総合的な視点から教科「福祉」のねらいに迫る視点を養います。加えて、活発な授業を展開するために必要な教育方法に関する知識と技術の習得をめざします。</p> <p>具体的には、福祉科の特性、ねらい、内容、構成等について理解した上で、各科目における教材研究を踏まえた授業計画の立案、実践、評価を行います。次年度に控える教育実習等を見据え、より実践的な学びを深めるために模擬授業の実践をはじめ試験問題の作成や評価、評定について具体的に学ぶ機会を重視します。</p>				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 福祉教育とは何か 3. 福祉教育と教科「福祉」 4. 教科としてのねらいとその背景 5. 教科「福祉」をめぐる実際 6. 教科「福祉」を学ぶ生徒像 7. 教科「福祉」の構成（全体構成） 8. 教科「福祉」の構成（各科目の特徴と関係） 9. 教育現場の実際1 10. 教育現場の実際2（外部講師による講話） 11. 教育現場の実際3（2の振り返り） 12. 各科目特性の理解（社会福祉基礎） 13. 各科目特性の理解（社会福祉制度） 14. 各科目特性の理解（社会福祉援助技術） 15. 各科目特性の理解（基礎介護） </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 16. 試験もしくはレポート 17. 各科目特性の理解（社会福祉実習） 18. 各科目特性の理解（社会福祉演習） 19. 各科目特性の理解（福祉情報処理） 20. 教材研究の進め方 21. 学習指導計画の作成 22. 評価をめぐる考え方と実際 23. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉基礎） 24. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉制度） 25. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉援助技術） 26. 模擬授業の実践と内容検討（基礎介護） 27. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉実習） 28. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉演習） 29. 模擬授業の実践と内容検討（福祉情報処理） 30. まとめ <p><small>（順番は前後することがあります。また23～29については受講生の人数や取り組みの進捗状況に応じて内容や順番、回数等が変更になる場合があります）</small></p> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 福祉教育とは何か 3. 福祉教育と教科「福祉」 4. 教科としてのねらいとその背景 5. 教科「福祉」をめぐる実際 6. 教科「福祉」を学ぶ生徒像 7. 教科「福祉」の構成（全体構成） 8. 教科「福祉」の構成（各科目の特徴と関係） 9. 教育現場の実際1 10. 教育現場の実際2（外部講師による講話） 11. 教育現場の実際3（2の振り返り） 12. 各科目特性の理解（社会福祉基礎） 13. 各科目特性の理解（社会福祉制度） 14. 各科目特性の理解（社会福祉援助技術） 15. 各科目特性の理解（基礎介護） 	<ol style="list-style-type: none"> 16. 試験もしくはレポート 17. 各科目特性の理解（社会福祉実習） 18. 各科目特性の理解（社会福祉演習） 19. 各科目特性の理解（福祉情報処理） 20. 教材研究の進め方 21. 学習指導計画の作成 22. 評価をめぐる考え方と実際 23. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉基礎） 24. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉制度） 25. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉援助技術） 26. 模擬授業の実践と内容検討（基礎介護） 27. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉実習） 28. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉演習） 29. 模擬授業の実践と内容検討（福祉情報処理） 30. まとめ <p><small>（順番は前後することがあります。また23～29については受講生の人数や取り組みの進捗状況に応じて内容や順番、回数等が変更になる場合があります）</small></p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 福祉教育とは何か 3. 福祉教育と教科「福祉」 4. 教科としてのねらいとその背景 5. 教科「福祉」をめぐる実際 6. 教科「福祉」を学ぶ生徒像 7. 教科「福祉」の構成（全体構成） 8. 教科「福祉」の構成（各科目の特徴と関係） 9. 教育現場の実際1 10. 教育現場の実際2（外部講師による講話） 11. 教育現場の実際3（2の振り返り） 12. 各科目特性の理解（社会福祉基礎） 13. 各科目特性の理解（社会福祉制度） 14. 各科目特性の理解（社会福祉援助技術） 15. 各科目特性の理解（基礎介護） 	<ol style="list-style-type: none"> 16. 試験もしくはレポート 17. 各科目特性の理解（社会福祉実習） 18. 各科目特性の理解（社会福祉演習） 19. 各科目特性の理解（福祉情報処理） 20. 教材研究の進め方 21. 学習指導計画の作成 22. 評価をめぐる考え方と実際 23. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉基礎） 24. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉制度） 25. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉援助技術） 26. 模擬授業の実践と内容検討（基礎介護） 27. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉実習） 28. 模擬授業の実践と内容検討（社会福祉演習） 29. 模擬授業の実践と内容検討（福祉情報処理） 30. まとめ <p><small>（順番は前後することがあります。また23～29については受講生の人数や取り組みの進捗状況に応じて内容や順番、回数等が変更になる場合があります）</small></p>				
教科書 参考書	教）文部科学省『高等学校学習指導要領解説－福祉編－（最新版）』（実教出版） 教）桐原宏行編著『福祉科教育法』（三和書籍、2004）				
評価方法	各種レポート（40％）： 指導案の作成および模擬授業実践×ひとりあたり3回（予定）（40％）：学期末試験もしくはレポート（30％）の結果から総合的に判断します。				
事前準備学習 履修条件等	毎時、教科書を持参の上、授業に臨むこと				